

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

# 茂呂つよし 創県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 新川流域、一層の賑わい創出へ

# 八千代の水辺拠点具体化

茂呂議員 印旛沼から東京湾に注ぐ印旛沼放水路や支川の神崎川、桑納川などと合わせ、周辺に広がる水田や緑地による、豊かな田園風景を活かし「印旛沼流域がわまちづくり計画」が、平成27年度から令和4年度を計画期間として進められてきた。

この計画をさらに拡大させるために、本年8月、千葉市・佐倉市・八千代市の

市長がわまちづくり計画とこれまでの計画との関連性がどうか、非常に気になる。そこでうかがうが、「印旛

沼流域がわまちづくり計画」について、年3月に完成したところであり、「水辺拠点」については、昨年3月に完成したところです。この計画における八千代市域の整備状況はどうか。

### 9月定例県議会一般質問



県の施策を質問する茂呂剛県議

### 混雑する京成・勝田台駅

### ホームドア設置を

**再質問** 茂呂議員 京成本線の中でも、勝田台駅へのホームドア設置の必要性は高いと思うが、県の認識はどうか。

総合企画部長 勝田駅

### 茂呂つよし・PROFILE

#### ■略歴■

- 1968年 八千代市に生まれる
- 1987年 八千代松陰高校卒業
- 1992年 秀明大学卒業
- 1992年 イワキ(株)勤務
- 2006年 八千代市議会議員当選
- 2010年 八千代市議会議員再選
- 2014年 第36代八千代市議会議長
- 2015年 千葉県議会選挙当選(3期)

#### ■現職■

- 県議会 総合企画企業常任委員会委員
- 千葉県民保育振興会会長

### ●県政に関するご相談を気軽にどうぞ



茂呂つよし 県議事務所

276-0046 八千代市大和田新田1092-7  
TEL 047-480-0244  
FAX 047-458-7033

HPもご覧下さい。… 検索 ちば自民党 → 議員リスト → 県議会議員 → 八千代市

八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は9月定例県議会で登壇し、県の施策について質問しました。だれもが安心して住める八千代市の街づくりに全力を注いでいる茂呂県議は、救急隊による患者搬送時間全国ワースト3の挽回を目指して導入された「救急搬送一斉紹介システム」についてその運用状況を聞き、さらに、混雑する京成勝田台駅に、乗降客の安全を守るホームドア設置を要望しました。茂呂県議の質問と、

熊谷知事ら県執行部の答弁を紹介します。

八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は9月定例県議会で登壇し、県の施策について質問しました。だれもが安心して住める八千代市の街づくりに全力を注いでいる茂呂県議は、救急隊による患者搬送時間全国ワースト3の挽回を目指して導入された「救急搬送一斉紹介システム」についてその運用状況を聞き、さらに、混雑する京成勝田台駅に、乗降客の安全を守るホームドア設置を要望しました。茂呂県議の質問と、

八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は9月定例県議会で登壇し、県の施策について質問しました。だれもが安心して住める八千代市の街づくりに全力を注いでいる茂呂県議は、救急隊による患者搬送時間全国ワースト3の挽回を目指して導入された「救急搬送一斉紹介システム」についてその運用状況を聞き、さらに、混雑する京成勝田台駅に、乗降客の安全を守るホームドア設置を要望しました。茂呂県議の質問と、

八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は9月定例県議会で登壇し、県の施策について質問しました。だれもが安心して住める八千代市の街づくりに全力を注いでいる茂呂県議は、救急隊による患者搬送時間全国ワースト3の挽回を目指して導入された「救急搬送一斉紹介システム」についてその運用状況を聞き、さらに、混雑する京成勝田台駅に、乗降客の安全を守るホームドア設置を要望しました。茂呂県議の質問と、

# 新たな「かわまちづくり計画」に盛り込む

八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は9月定例県議会で登壇し、県の施策について質問しました。だれもが安心して住める八千代市の街づくりに全力を注いでいる茂呂県議は、救急隊による患者搬送時間全国ワースト3の挽回を目指して導入された「救急搬送一斉紹介システム」についてその運用状況を聞き、さらに、混雑する京成勝田台駅に、乗降客の安全を守るホームドア設置を要望しました。茂呂県議の質問と、

八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は9月定例県議会で登壇し、県の施策について質問しました。だれもが安心して住める八千代市の街づくりに全力を注いでいる茂呂県議は、救急隊による患者搬送時間全国ワースト3の挽回を目指して導入された「救急搬送一斉紹介システム」についてその運用状況を聞き、さらに、混雑する京成勝田台駅に、乗降客の安全を守るホームドア設置を要望しました。茂呂県議の質問と、

八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は9月定例県議会で登壇し、県の施策について質問しました。だれもが安心して住める八千代市の街づくりに全力を注いでいる茂呂県議は、救急隊による患者搬送時間全国ワースト3の挽回を目指して導入された「救急搬送一斉紹介システム」についてその運用状況を聞き、さらに、混雑する京成勝田台駅に、乗降客の安全を守るホームドア設置を要望しました。茂呂県議の質問と、

## 八千代市大和田新田 県道船橋印西線沿道

## 小学校新設予定地 周辺の歩道を整備

八千代市大和田新田  
県道船橋印西線沿道

八千代市が新設する小学校の周辺に、歩道を整備する計画がある。現在、歩道未整備の箇所が残っている。そこで、八千代市が新設する小学校の周辺に、歩道を整備する計画がある。



県担当者の答弁に対して、要望を行う茂呂県議

**要望**  
茂呂  
議員  
可能な限り開  
校に間に合う  
よう歩道整備  
を進めるところ  
にも、少しでも  
も歩行者の  
安全対策に努めるよう要  
望する。

茂呂議員  
八千代市が新設する小学校を県道船橋印西線沿道に建設することによって、県道船橋印西線沿道東側には歩道が整備されているが、小学校予定地である県道西側は歩道未整備の箇所が残っている。

茂呂議員  
八千代市における県立高校の再編等に係る地域協議会の進捗状況は

茂呂議員  
八千代市においては、地  
方の検討に当たっては、地  
域ごとに協議会を開催し、  
としており、今年度、測量  
を実施いたします。

茂呂議員  
八千代市について、地  
元自治体や教育関係者、P  
TA関係者など15名の委員  
からなる習志野・八千代・  
船橋地区地域協議会を設置し、8月21日に行なった第

## 八千代市など3市協議会 八千代市などの再編検討

茂呂議員  
八千代市における県立高校の再編等に係る地域協議会の進捗状況は

茂呂議員  
八千代市においては、地  
方の検討に当たっては、地  
域ごとに協議会を開催し、  
としており、今年度、測量  
を実施いたします。

茂呂議員  
八千代市について、地  
元自治体や教育関係者、P  
TA関係者など15名の委員  
からなる習志野・八千代・  
船橋地区地域協議会を設置し、8月21日に行なった第

茂呂議員 救急隊が事  
案を覚知してから医療機  
関に連絡されるまでの総時間  
は全国平均より6・9分も  
の差があり、47都道府県

中45位、全国ワースト3  
位と、極めて厳しい状況に  
ある。  
県ではこれらの課題の解  
決に向けて、救急隊から複

数の救急機関に向けて、患  
者情報の共有を受け入れ可  
否について紹介できる「救急  
搬送一斉紹介システム」を  
導入した。

本システムについては、地  
の協力を得な  
がら、歩道の  
早期整備に努  
めてまいります。

**要望**  
茂呂  
議員  
農業後継者が  
安定して農業経営を継続でき  
るよう、県はどのように  
支援しているのか。

茂呂議員  
農業後継者  
や経営のスキルアップを支  
援していくことが重要です。  
このため県では、農地や  
機械の資産譲渡の手続きな  
どが円滑に進められるよう、  
専門家を派遣しているこ  
ろです。また、後継者などを  
対象に、生産や販売経

農業後継者  
や経営のスキルアップを支  
援していくことが重要です。  
このため県では、農地や  
機械の資産譲渡の手続きな  
どが円滑に進められるよう、  
専門家を派遣しているこ  
ろです。また、後継者などを  
対象に、生産や販売経

農業後継者  
や経営のスキルアップを支  
援していくことが重要です。  
このため県では、農地や  
機械の資産譲渡の手続きな  
どが円滑に進められるよう、  
専門家を派遣しているこ  
ろです。また、後継者などを  
対象に、生産や販売経

## 農業後継者を支援 経営管理セミナーなど開催

茂呂議員  
八千代市では、小中学校の教室  
不足に対し、県立高校の  
施設に空きが出た場合にそ  
れを利用する案についても  
検討されている。そこで、  
地域協議会においても、地  
域の事情をしっかりと伝え  
ていただき、今後の高校再  
編についてスピード感を持  
つて議論を進めていただき

# 速やかな患者搬送へ 救急搬送一斉紹介システム導入

一部の協議会では、患者  
体制等の特性を踏まえる  
必要があることから、救  
急医療関係者で組織する  
急医療関係者で組織する  
い等の状況がありますが、  
県内10地区の協議会において、それらの実情に合わせて運用することとしています。

一部の協議会では、患者  
体制等の特性を踏まえる  
必要があることから、今後、3  
地区での運用状況の分析を  
これまでに千葉県東部、  
東葛南西部、東葛南東部の3  
地区で運用を開始しました。

一部の関係者の方々からは、運用にあたっては財政負担を心配する声も聞いている。救急搬送は非常にマンパワーを要する仕事。執行部は、県に進めるとともに、残る7地区に 対し効果的な導入方法等について検討を働きかけます。

### 災害発生に備え 32広域防災拠点

茂呂議員  
広域防災拠点

が災害発生時に有効に機能するため、県はどのように取り組んでいくのか。  
広域防災拠点は、大規模災害が発生した際の、消防、警察、自衛隊など救援部隊の活動拠点であり、地理的条件や施設規模などについて検討を働きかけます。